

# 大型警察用船舶の更新整備

船舶の規模

25トン  
20m級

10トン  
12m級

5トン未満  
8m級

## 大型艇

1隻のみ

〔県〕『たかしま』 25トン  
 長さ 19.8m 最大搭載人員 26人  
 平成元年10月配備 (堅田詰所配備)

### メリット

- 大規模災害時に有効  
 多様な災害活動に必要な人員、物資の輸送に対応(大人数の輸送が可能)
- 悪天候時の活動が可能  
 中型艇が活動困難な悪天候時においても捜索、救助活動が可能
- 乗務員等の安全確保  
 気象の急変や万一危機に遭遇した場合においても乗務員等の安全確保が可能



災害時・荒天時



中型艇で対応困難な事案でも大型艇のみで対応可能

乗務員の安全を確保可能  
 琵琶湖全域で救助活動等が可能



しかし  
 建造後27年経過

耐用年数は国費で20年  
 海上保安庁も同様

※ 最大瞬間風速が15m以上は年間41日  
 (H26、彦根地方気象台での観測)

## 老朽化が深刻化

### 問題点

～全国の大型警備艇で最高齢～

- エンジンの老朽化により航行不能となる可能性あり  
 ・右舷エンジンが老朽化により冷却機能が低下し、オーバーヒート状態となる(修繕不可)  
 ・補修部品が製造されておらず、故障しても修理不可能
- エンジン設計が古く、現在の環境対応にそぐわない  
 ・2サイクルエンジンが条例による規制対象(適用除外条件により運行を継続している)
- 船体の腐食により浸水する可能性あり  
 ・平成25年にブラケット部分からの浸水が発生  
 ・船首や舵の取付部分、船体の各溶接箇所等の腐食も進行しており、次々回点検までに浸水する可能性が極めて高い
- 船内設備、機器の老朽化  
 ・探索機器等の充実 ・多様な災害活動指揮拠点(現場本部等)としての機能充実

更新しなければ

荒天時の活動不可能

修繕に多額の費用必要

災害時の対応力低下

## 中・小型艇

6隻

荒天時は琵琶湖南部が限界

- 〔国〕『ちくぶ』 更新年H26、H7(前回)
- 〔国〕『さざなみ』 更新年H26、H2(前回)
- 〔県〕『おうみ』 更新年H24、H2(前回は大型艇)
- 〔県〕『こたか』 更新年H18、H7(前回)
- 〔県〕『はやぶさ』 更新年H25、H2(前回は大型艇)
- 〔国〕『ひよどり』 更新年H2



風速 15m  
 波高 1m

風速 20m  
 波高 1.5m

活動可能な  
 風波の強さ

民間観光船運行限界

通常台風レベル